



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学

# 神戸市外国語大学データ集

データでみる神戸市外大

2024 年度



## 【目次】

0	概要	3
1	歴史	4
1-1	沿革	4
1-2	歴代学長	5
1-3	累計卒業生数	5
2	教育	6
2-1	学生数	6
2-2	入試実施状況	7
2-3	出身地域別入学者割合	8
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	9
2-5	就職状況	10
2-6	資格等取得状況	11
2-7	語学運用能力の成長	13
2-8	課外活動状況	15
3	研究	19
3-1	科学研究費助成事業	19
3-2	学術論文	23
3-3	研究支援事業	26
4	国際交流	28
4-1	留学状況	28
4-2	国際交流協定	32
5	地域貢献・地域連携	34
5-1	地域行政、団体などとの協力	34
5-2	市民講座・公開講座等	35
5-3	学生ボランティア活動	36
6	教職員	37
6-1	教員数	37
6-2	職員数	37
7	財務状況	38
8	図書館	39

※このデータ集は、原則として前年度（2023年度）時点での状況をまとめているが、一部2024年度の情報が記載されている項目もある

## 0 概要

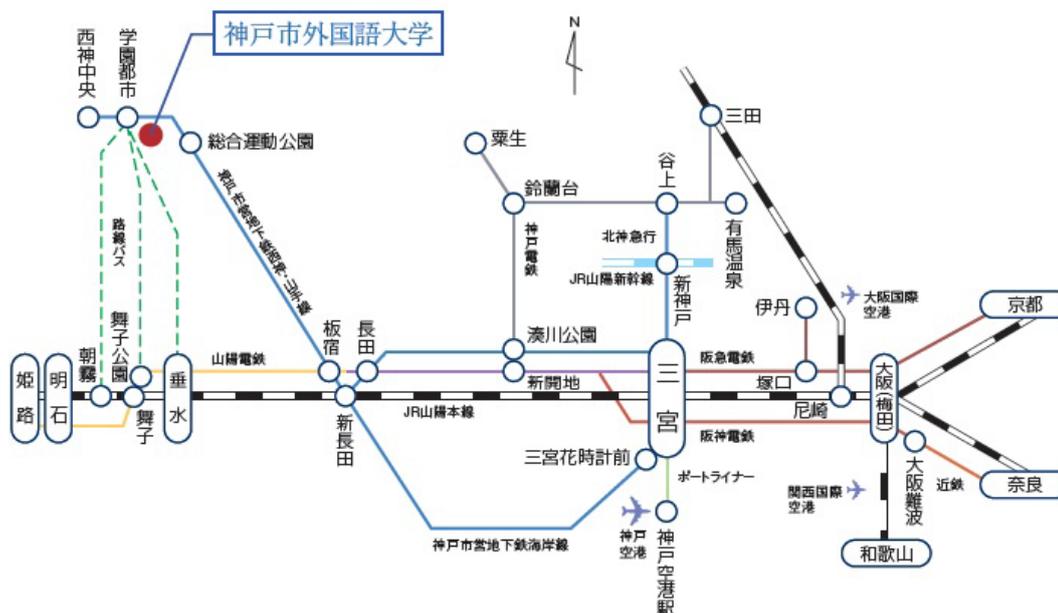
■大学名称 神戸市外国語大学  
(Kobe City University of Foreign Studies)

■キャンパス面積 校地面積 : 84,980 m<sup>2</sup>  
校舎面積 : 21,113 m<sup>2</sup>

■所在地 〒651-2187  
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部

(学部)	外国語学部	英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科
	外国語学部第2部	英米学科
(大学院)	外国語学研究科	英語学専攻 ロシア語学専攻 中国語学専攻 イスパニア語学専攻 国際関係学専攻 日本アジア言語文化専攻 英語教育学専攻 文化交流専攻



# 1 歴史

## 1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学に昇格（外国語学部を英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置  
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設  
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を設置
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を設置  
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を設置  
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 学部に総合文化コースを設置
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程（修士課程）と単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行  
第1期中期計画スタート
- 2009 学部に国際コミュニケーションコースを設置
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 大学院外国語学研究科修士課程に、論文、課題研究の2コースを設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 第2学舎増築（スチューデントコモンズ新設）
- 2019 第3期中期計画スタート
- 2021 学部に語学文学、国際法政、経済経営、多文化共生、リベラルアーツの5コースを設置
- 2023 神戸市立工業高等専門学校と同一法人下での一体運営を開始

## 1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 榮一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～2021.3.31
	田中 悟	2021.4.1～

## 1-3 累計卒業生数

### ■学部 (2024年3月31日現在)

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	8,149
	ロシア学科	2,359
	中国学科	2,733
	イスパニア学科	2,146
	国際関係学科	2,698
外国語学部第2部 英米学科		5,979
合計		24,064

### ■大学院 (2024年3月31日現在)

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	304
	ロシア語学専攻	50
	中国語学専攻	59
	イスパニア語学専攻	72
	国際関係学専攻	189
	日本アジア言語文化専攻	248
	英語教育学専攻	141
	合計	1,063
博士課程	文化交流専攻	98
合計		1,161

※博士課程（文化交流専攻）における数値は、博士の学位授与数

## 2 教育

### 2-1 学生数

#### ■学部

※2024年5月1日現在

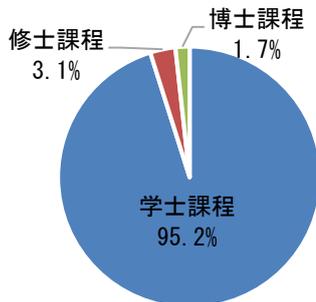
学部・学科別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
外国語学部	英米学科	560	145	43	102	148	46	102	185	51	134	213	79	134	691	219	472
	ロシア学科	160	47	15	32	45	22	23	51	20	31	40	23	17	183	80	103
	中国学科	200	55	7	48	53	9	44	70	15	55	61	12	49	239	43	196
	イスパニア学科	160	51	17	34	40	11	29	53	16	37	52	22	30	196	66	130
	国際関係学科	320	86	21	65	85	29	56	118	31	87	103	24	79	392	105	287
学部計	1400	384	103	281	371	117	254	477	133	344	469	160	309	1701	513	1188	
外国語学部 第2部英米学科	320	92	41	51	81	26	55	111	42	69	101	48	53	385	157	228	
合計	1720	476	144	332	452	143	309	588	175	413	570	208	362	2086	670	1416	

#### ■大学院

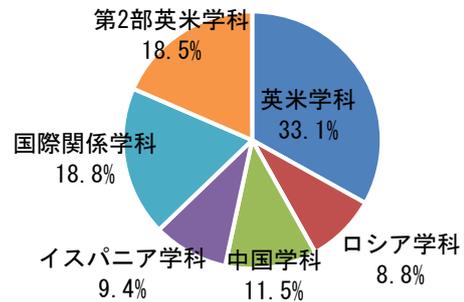
※2024年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年		2年		3年		4年		合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
修士課程	英語学専攻	20	6	3	3	5	4	1	/	/	/	/	/	11	7	4
	ロシア語学専攻	10	1	0	1	1	1	0	/	/	/	/	/	2	1	1
	中国語学専攻	10	1	1	0	3	2	1	/	/	/	/	/	4	3	1
	イスパニア語学専攻	10	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	0	0	0
	国際関係学専攻	20	2	1	1	5	4	1	/	/	/	/	/	7	5	2
	日本アジア言語文化専攻	24	11	4	7	14	4	10	/	/	/	/	/	25	8	17
	小計	94	21	9	12	28	15	13	/	/	/	/	/	49	24	25
英語教育学専攻	20	5	1	4	14	8	6	/	/	/	/	/	19	9	10	
合計	114	26	10	16	42	23	19	/	/	/	/	/	68	33	35	
博士課程	文化交流専攻	36	8	5	3	8	5	3	22	10	12	/	/	38	20	18
合計	150	34	15	19	50	28	22	22	10	12	/	/	106	53	53	

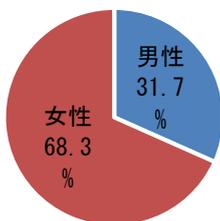
課程別学生数（学士・修士・博士）



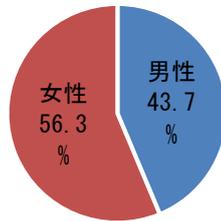
学科別学生数（学部）



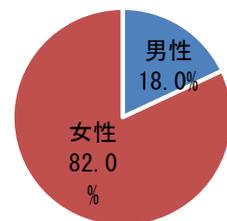
英米学科



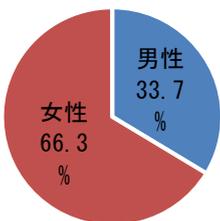
ロシア学科



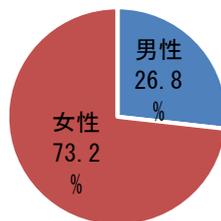
中国学科



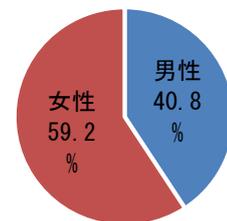
イスパニア学科



国際関係学科



第2部英米学科

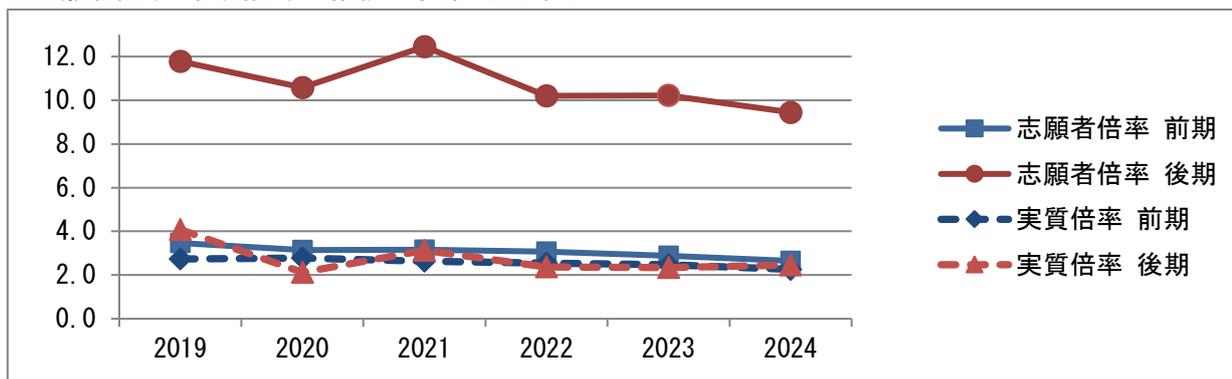


## 2-2 入試実施状況

### ■2024年度入学試験実施状況（2023年度実施）

学部 学科別	入試区分		募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数	志願者倍率 B/A	競争率 C/D	昨年度 競争率 倍	
			人	人	人	人	人	倍	倍	倍	
英米 学科	総合型	総合型	140	7	53	52	7	143	7.6	7.4	6.6
		市内枠		7	16	15	6		2.3	2.5	2.5
	学校推薦 全国枠	9		65	64	9	7.2		7.1	7.0	
	一般選抜	前期		91	246	232	99		2.7	2.3	2.2
		後期		26	216	66	36		8.3	1.8	1.8
	特別選抜	帰国		若干名	0	0	0		0		
外国人			1	0	0	0					

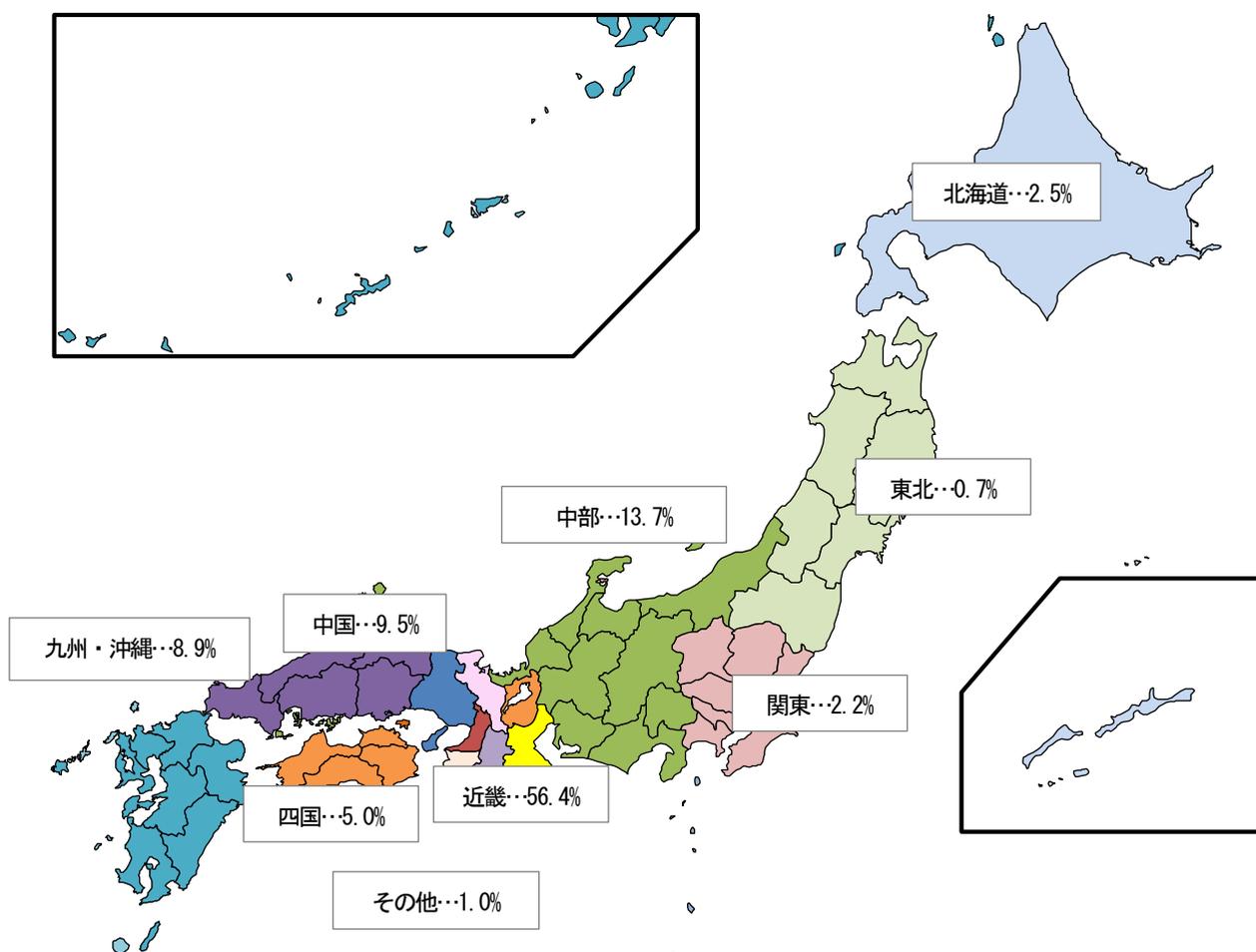
■志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



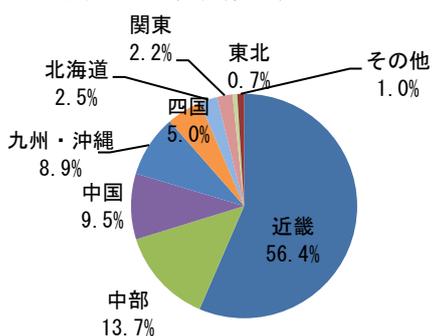
※入試年度は、受験生が入学する年の西暦で表記（2024 は 2023 年度に実施した入試を指す）

2-3 出身地域別入学者割合

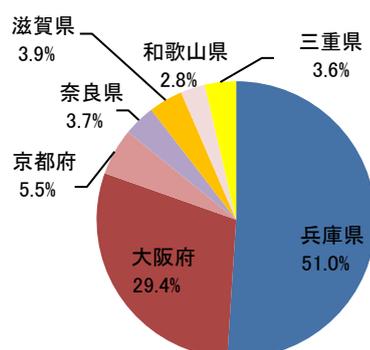
■過去6年間（2018～2023年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）



地域別入学者数（2018～2023）



近畿圏入学者数（2018～2023）

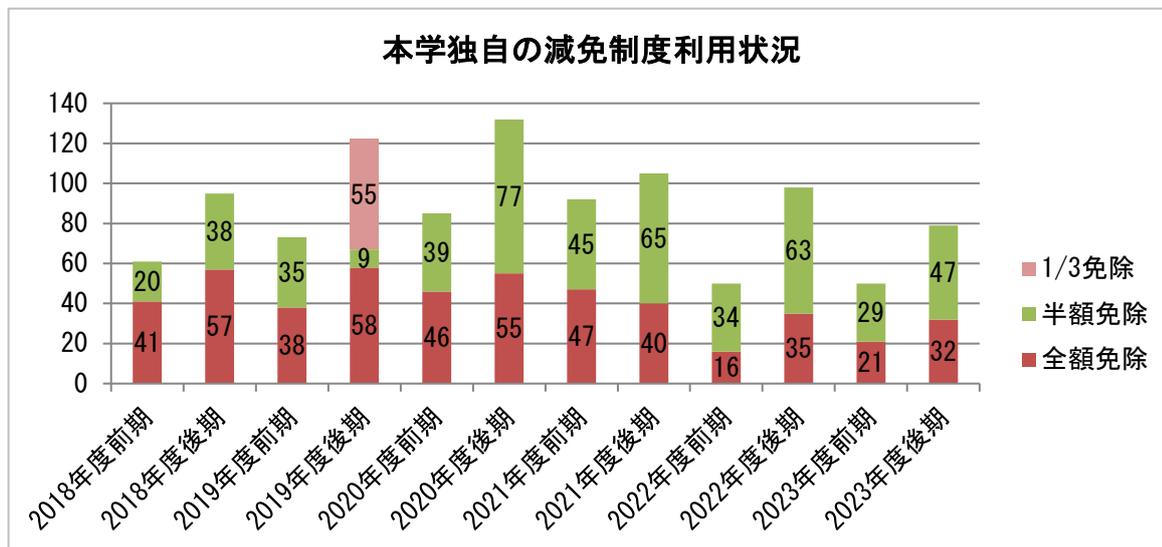


## 2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に対する奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉学したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

### ■本学独自の授業料減免制度

学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額等を免除するもの。

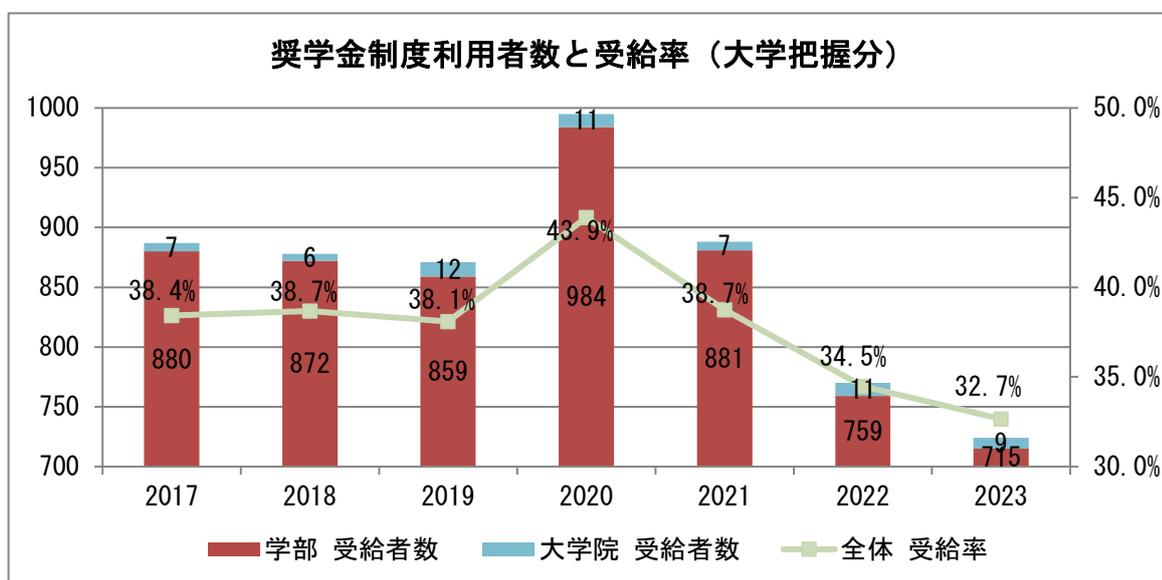


※2019年度後期については予算上限の関係上、留学生の授業料を3分の1の免除とした。

### ■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構のものをはじめとする各種制度がある。

※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。

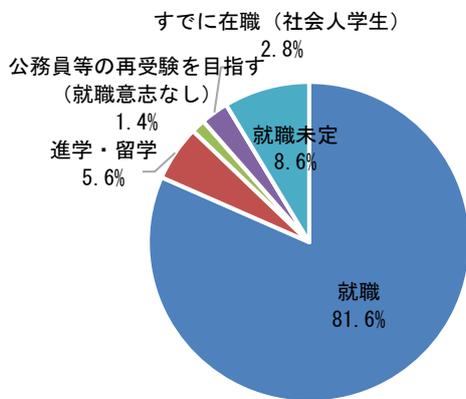


## 2-5 就職状況

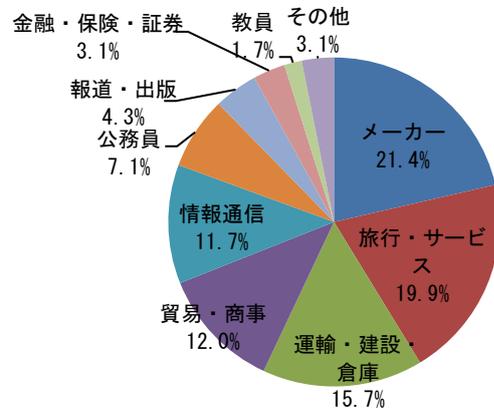
### ■学部卒業生の学科別進路状況（2023 年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員 等の再 受験を 目指す (就職 意志な し)	すでに 在職 (社会 人学生)	就職 未定
		メー カー	貿易・ 商事	金融・ 保険・ 証券	運輸・ 建設・ 倉庫	報道・ 出版	情報 通信	旅行・ サー ビス	公務員	教員	その他	合計				
英米学科	138	20	12	5	18	10	11	25	10	4	4	119	4	2	0	13
ロシア学科	49	8	5	1	7	0	6	7	3	0	3	40	4	0	0	5
中国学科	43	11	4	1	9	1	4	3	4	1	1	39	1	1	0	2
イスパニア学科	40	8	5	1	1	1	3	9	4	0	1	33	4	2	0	1
国際関係学科	86	18	9	2	7	2	11	16	3	1	0	69	7	1	0	9
第2部英米学科	74	10	7	1	13	1	6	10	1	0	2	51	4	0	12	7
合計	430	75	42	11	55	15	41	70	25	6	11	351	24	6	12	37

卒業生の進路別割合



2024年3月卒業生の就職業種



### ■主な就職先（順不同）

#### <メーカー>

神戸製鋼所(2)、三菱電機、住友電気工業、横河電機、トヨタ自動車、マダ、ブラザー工業、グンデン工業、アックス、ジェイテック、日本食研ホールディングス、ハウス食品、森永乳業、住友ベークライト、富士フィルム、カカ(2)、関西ペイント、セイコーウチ、シズン時計、日本ロレアル、TDK(2)、東京電力ホールディングス、デンカ(2)、伊藤ハム、ニテック、マキ(2)、DMG森精機、山陽特殊製鋼、カサモーターズ、NISSHA、ヨネックス、デンソーテン、クリナップ、ニトリ

#### <貿易・商事>

アマゾンジャパン、良品計画(2)、ファーストリテイリング(2)、ニトリ、チュッシュ、富士貿易、帝人フロンティア(3)、富永貿易、タヒコ、エテカ、Wismettacグループ

#### <金融・保険・証券>

東京海上日動火災保険、日本生命保険相互会社、住友生命保険相互会社(2)、肥後銀行、福井銀行、楽天カード、東京海上日動コミュニケーションズ

#### <運輸・倉庫>

日本航空(8)、全日本空輸(3)、スカイマーク、スターフライト航空、JALスカイ大阪(2)、ANA関西空港、日本通運、郵船ロジスティクス(2)、西日本鉄道国際物流事業本部、近鉄エクスプレス(6)、阪急阪神エクスプレス(2)、伊藤忠ロジスティクス、住商グローバルロジスティクス、三菱ケミカル物流、日通NECロジスティクス、山九(2)、上組

#### <旅行・サービス>

JTB、日本旅行、エフアール、ヒルトングループ、星野リゾート、リゾートトラスト、アケビチャ、アビームコンサルティング(2)、マゼンタソリューションズ、きんでん、ゼンショーホールディングス、パルティーズ(2)

#### <報道・出版・情報・通信>

日本アビエーム、KDDI、NTTデータフロンティア、日本タテコンサルタンシーサービス(2)、デルテクノロジー、丸紅情報システム、NECソリューションパートナー、三菱総研DCS、SCSK、U-SEN NEXT HOLDINGS、サイバーエージェント、中京テレビ放送、電通九州、電通デジタル、共同通信社、リクルート、ぎょうせい

#### <公務・教職・その他団体>

外務省専門職員(3)、防衛省航空自衛隊専門職員、防衛省陸上自衛隊、国土交通省、航空管制官(2)、神戸税関、大阪税関、大阪出入国在留管理庁、福岡県庁(2)、神戸市役所、姫路市役所、大阪市役所(2)、横浜市役所、名古屋市役所、福岡市役所、草津市役所、蟹江町役場、大阪高等裁判所、京都労働局、近畿中央防衛局

#### <教員>

神戸市教育委員会、京都市教育委員会、富山県教育委員会、中京大学附属中京高等学校、兵庫県立西脇北高等学校、学校法人角川ワコ学園

#### 【その他】

国際協力機構、日本貿易振興機構、日本国際協力センター、国際交流サービス協会、神戸商工会議所、福井大学、大阪いづみ市民生活協同組合、堺市公園協会、大阪府市町村職員共済組合、半導体エレクトロニクス研究所

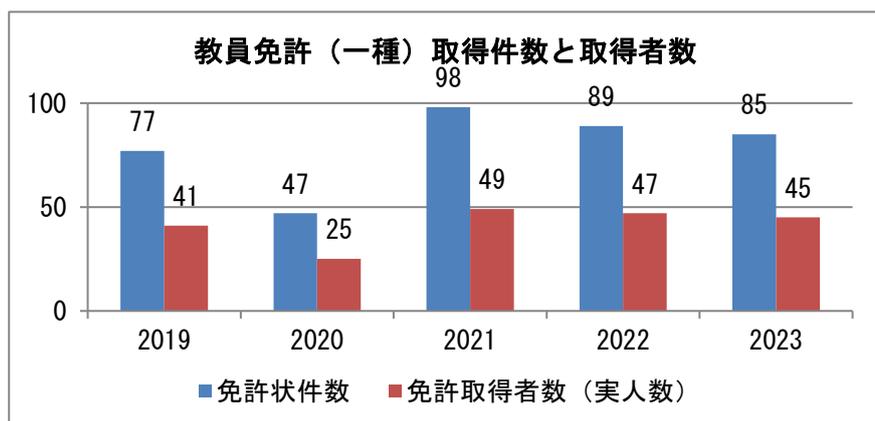
## 2-6 資格等取得状況

### ■教員免許

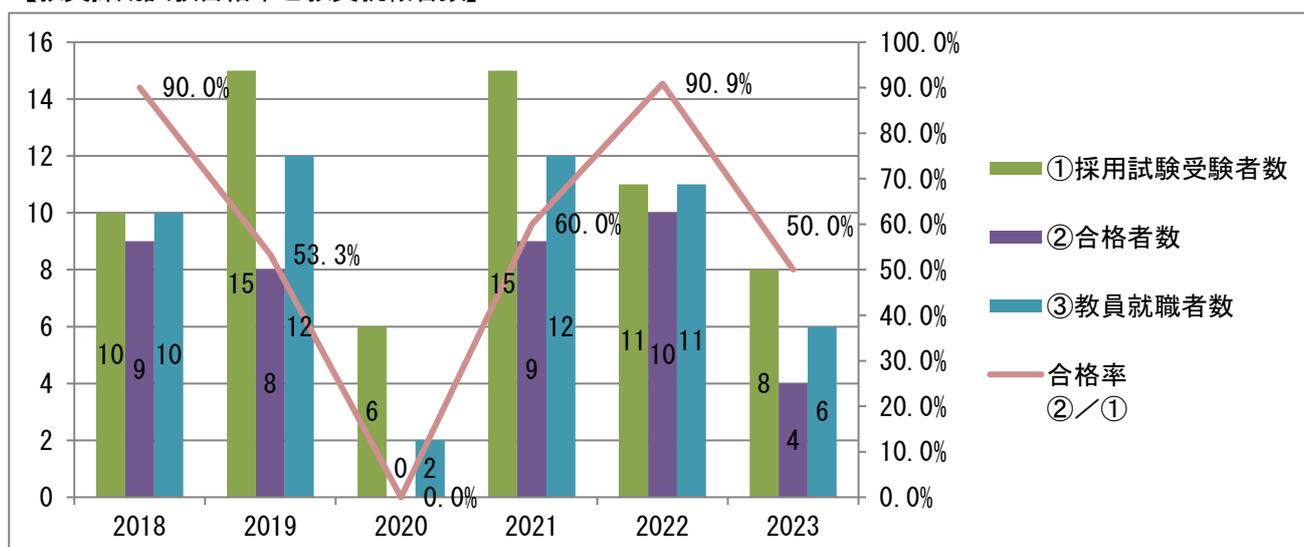
【教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）】

年度		英語							ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数	英語		合計	
		英語	英米	口	中	イ	国関	2部							英語学	英語教育学		
2018	中1種	25	10	1	3	0	2	9	1	3	0	/	29	31	中専免	0	3	3
	高1種	31	14	1	3	1	3	9	1	3	1	0	36		高専免	0	3	3
2019	中1種	30	15	1	2	0	1	11	1	1	0	/	32	41	中専免	2	4	6
	高1種	41	17	1	4	1	4	14	1	2	1	0	45		高専免	2	4	6
2020	中1種	18	6	0	0	3	6	3	0	0	2	/	20	25	中専免	0	2	2
	高1種	25	9	0	2	3	7	4	0	0	2	0	27		高専免	0	2	2
2021	中1種	38	16	3	2	2	9	6	2	2	1	/	43	49	中専免	1	4	5
	高1種	49	25	4	3	2	9	6	3	2	1	0	55		高専免	1	5	6
2022	中1種	38	17	2	2	1	10	6	2	0	0	/	40	47	中専免	1	6	7
	高1種	47	21	2	2	1	12	9	2	0	0	0	49		高専免	1	6	7
2023	中1種	35	14	0	3	2	10	6	0	2	0	/	37	45	中専免	1	5	6
	高1種	45	19	0	4	2	11	9	0	2	0	1	48		高専免	1	5	6

【教員免許（一種）取得件数と取得者数推移】



【教員採用試験合格率と教員就職者数】



※当該年度に教育実習を行った学生を対象とする。

※科目等履修生は含まない。

※受験者数、合格者数には私立を含む。

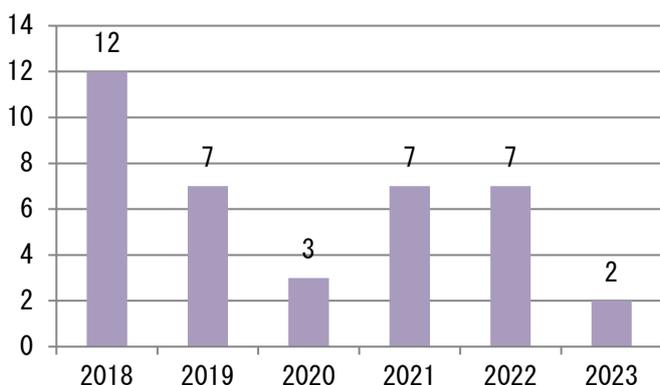
※採用試験合格により就職した者に加え、講師登録により就職（非常勤含む）をした者を含む。

■司書資格

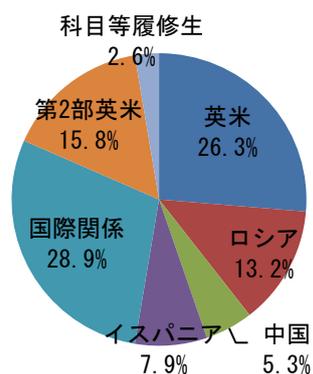
【司書課程修了者数】

資格	学科	2018	2019	2020	2021	2022	2023
司書	英米	5	1	0	1	2	1
	ロシア	1	2	0	1	0	1
	中国	1	1	0	0	0	0
	イスパニア	0	1	1	1	0	0
	国際関係	1	2	2	3	3	0
	第2部英米	3	0	0	1	2	0
	科目等履修生	1	0	0	0	0	0
	合計		12	7	3	7	7

司書課程修了者数



学科等別修了者（過去6年間合計）

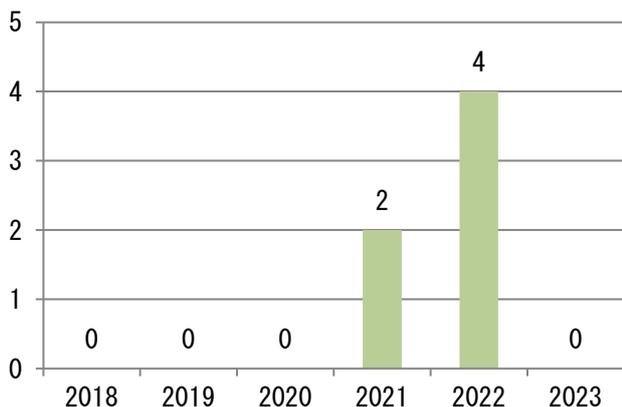


■学校図書館司書教諭資格

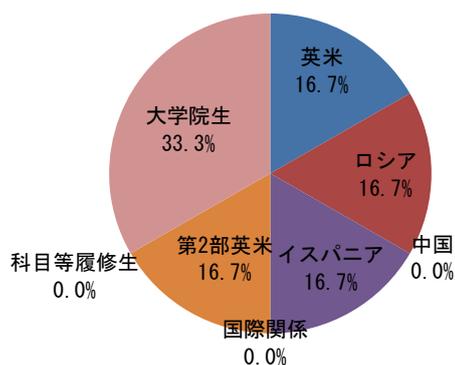
【司書教諭課程修了者数】

資格	学科	2018	2019	2020	2021	2022	2023
学校図書館 司書教諭	英米	0	0	0	0	1	0
	ロシア	0	0	0	1	0	0
	中国	0	0	0	0	0	0
	イスパニア	0	0	0	1	0	0
	国際関係	0	0	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	0	1	0
	科目等履修生	0	0	0	0	0	0
	大学院生	0	0	0	0	2	0
	合計		0	0	0	2	4

司書教諭課程修了者数



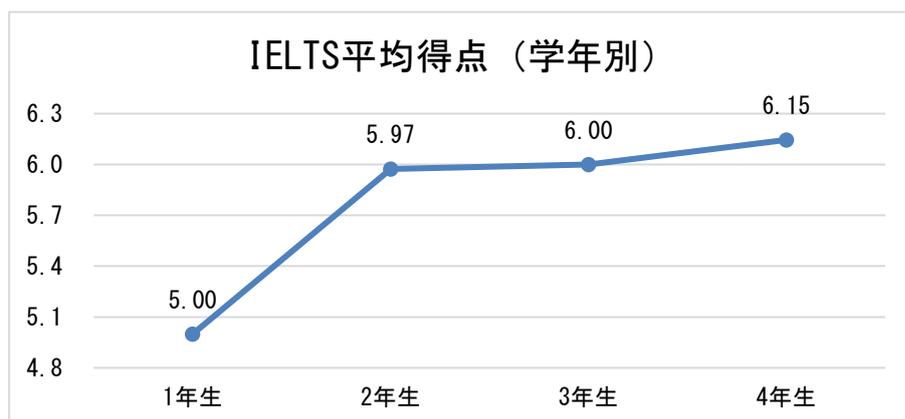
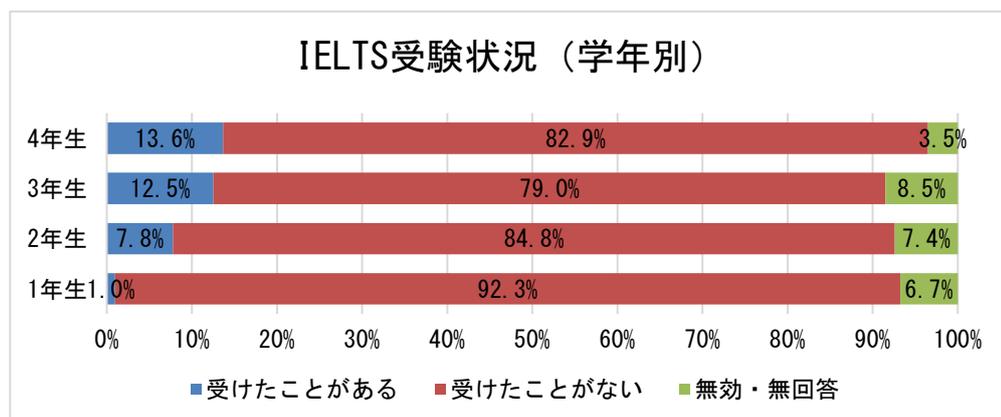
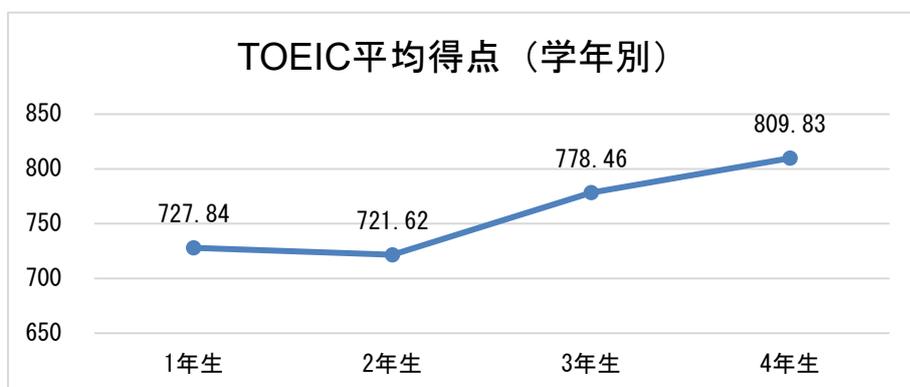
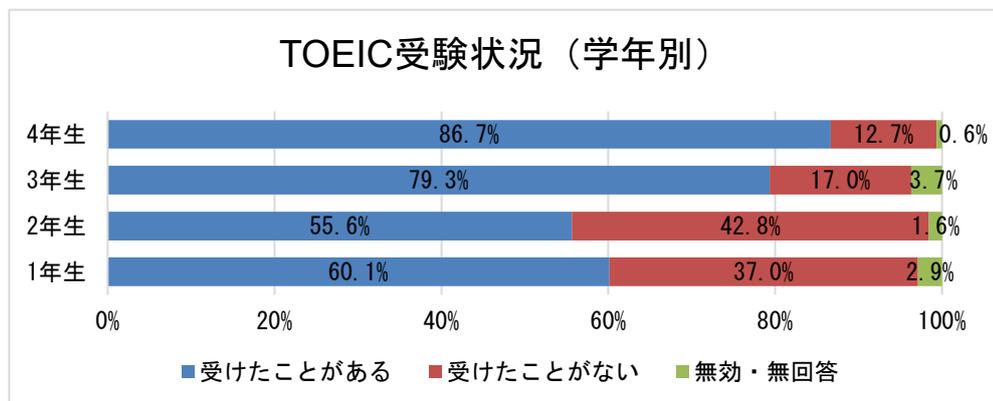
学科等別修了者（過去6年間合計）



## 2-7 語学運用能力の成長

※2022年11月実施「第4回学生生活調査」より（回収率67.8%） n=1,157

### ■英語運用能力の伸び



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

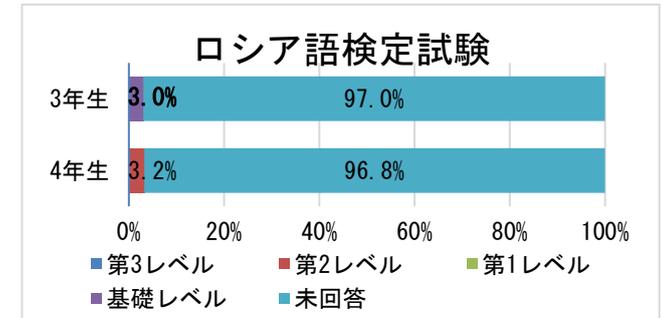
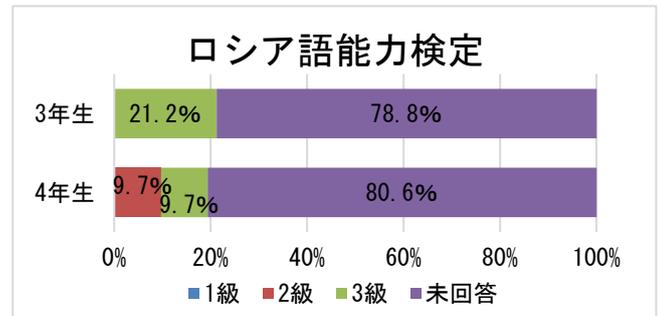
【ロシア学科 3・4年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1級	2級	3級	未回答	合計
3年生	0	0	7	26	33
4年生	0	3	3	25	31
合計	0	3	10	51	64

・ロシア語検定試験

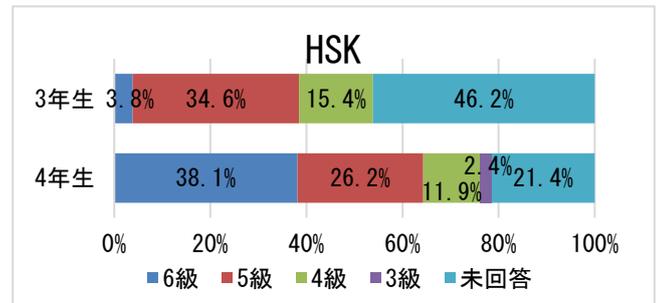
	第3レベル	第2レベル	第1レベル	基礎レベル	未回答	合計
3年生	0	0	0	1	32	33
4年生	0	1	0	0	30	31
合計	0	1	0	1	62	64



【中国学科 3・4年生の受験状況】

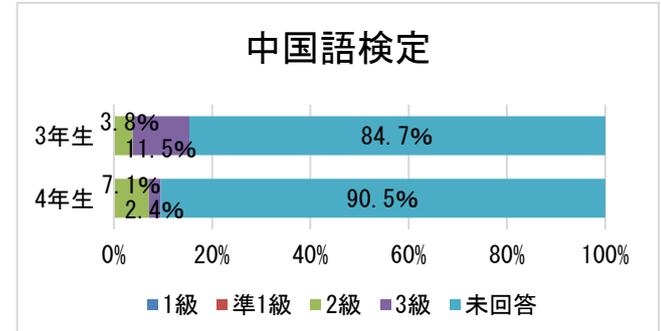
・HSK

	6級	5級	4級	3級	未回答	合計
3年生	1	9	4	0	12	26
4年生	16	11	5	1	9	42
合計	17	20	9	1	21	68



・中国語検定

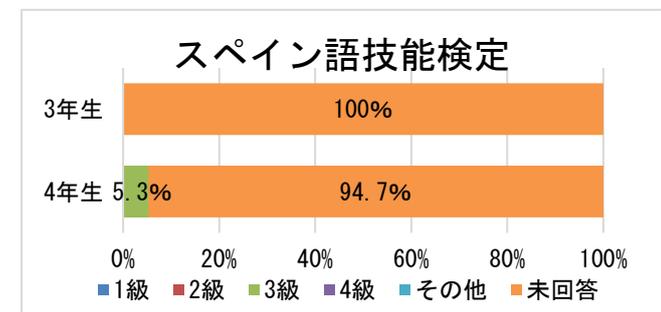
	1級	準1級	2級	3級	未回答	合計
3年生	0	0	1	3	22	26
4年生	0	0	3	1	38	42
合計	0	0	4	4	60	68



【イスパニア学科 3・4年生の受験状況】

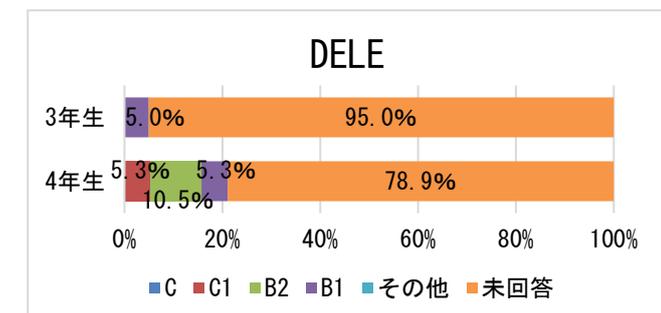
・スペイン語技能検定

	1級	2級	3級	4級	その他	未回答	合計
3年生	0	0	0	0	0	20	20
4年生	0	0	1	0	0	18	19
合計	0	0	1	0	0	38	39



・DELE

	C	C1	B2	B1	その他	未回答	合計
3年生	0	0	0	1	0	19	20
4年生	0	1	2	1	0	15	19
合計	0	1	2	2	0	34	39



## 2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2023年度）

### 外国語コンテスト等

#### 第32回関西ロシア語コンクール

11月12日（日曜）、大阪府社会福祉会館で「第32回関西ロシア語コンクール」が開催され、ロシア学科3年 福井薫さんが中級部門1位を受賞しました。

#### 第1回ブルガリア語弁論大会

12月9日（土曜）、大阪大学箕面キャンパスで「第1回ブルガリア語弁論大会」が開催され、ロシア学科3年 両川唯人さんが第1位を受賞しました。

#### 第3回日中大学生スピーチ交流会

10月8日（日曜）、中国文化センターで「日中平和友好条約締結45周年記念 第3回日中大学生スピーチ交流会」が開催され、中国学科4年 久保田沙映さんが日中友好協会賞を受賞しました。

#### 第4回全日本大学生中国語スピーチコンテスト（西日本ブロック）

#### 第4回全日本大学生中国語スピーチコンテスト

5月27日（土曜）、神戸学院大学 三宮サテライトで開催された「第4回全日本大学生中国語スピーチコンテスト（西日本ブロック）」を勝ち抜き、6月24日（土曜）、東京で開催された「第4回全日本大学生中国語スピーチコンテスト」に出場し、中国学科3年 小池紗輝さんが一等賞を獲得した。

#### 第41回全日本中国語スピーチコンテスト 兵庫県大会

10月15日（日曜）、神戸市教育会館で「第41回全日本中国語スピーチコンテスト 兵庫県大会」が開催され、朗読 大学生の部で中国学科2年 大力春香さんが優勝しました。

#### 2023年度第1回スペイン語スピーチコンテスト

9月16日（土曜）、ペルー大使館で「2023年度第1回スペイン語スピーチコンテスト」が開催され、イスパニア学科2年 加藤葵さんが初級1位を受賞しました。

#### 日本大学英語模擬国連大会

7月7日（金曜）～7月9日（日曜）、神戸市外国語大学が主催で「JUEMUN2023（日本大学英語模擬国連大会）」が開催され、国際関係学科4年 杉山ロレーナさんが事務総長補佐として大会を成功に導きました。

#### 模擬国連世界大会ニューヨーク大会

4月2日（日曜）～4月6日（木曜）、ニューヨークで「2023年模擬国連世界大会ニューヨーク大会」が開催され、国際関係学科3年 平島輝子さんと英米学科3年 榎木杏さんが Outstanding Delegate Award を受賞しました。加えて、本学代表団は、Distinguished Delegation Award を受賞しました。

#### 模擬国連世界大会 ドイツ大会

11月19日（日曜）～11月24日（金曜）、ドイツ・エアフルトで「2023年模擬国連世界大会 ドイツ大会」が開催され、国際関係学科2年 佐藤めいさん、外国人研究生 靳宸さんが Outstanding Delegate Award を受賞しました。加えて、本学から参加した2つの代表団は、Outstanding Delegation Award を受賞しました。

## ■全国大学生マーケティングコンテスト（MCJ）

本学の学生を中心とする運営委員会（神戸市外国語大学全国大学生マーケティング・コンテスト運営委員会）が企画・運営する大会で、2011年に始まりました。

地元企業等からテーマの提供を受け、そのテーマに対する具体的なマーケティングプランを、全国から参加する大学生チームが英語で発表し競い合います。大会への参加を通じて、学生の企画力、課題解決力、発信力、英語表現力などの向上を図り、地域の企業等の振興にも貢献することを目指しています。

### テーマ（2023年度）

日本とASEAN市場における昆虫食（コオロギ食）の普及・売上拡大  
～循環的・持続的な食糧提供への挑戦～

### テーマ提供

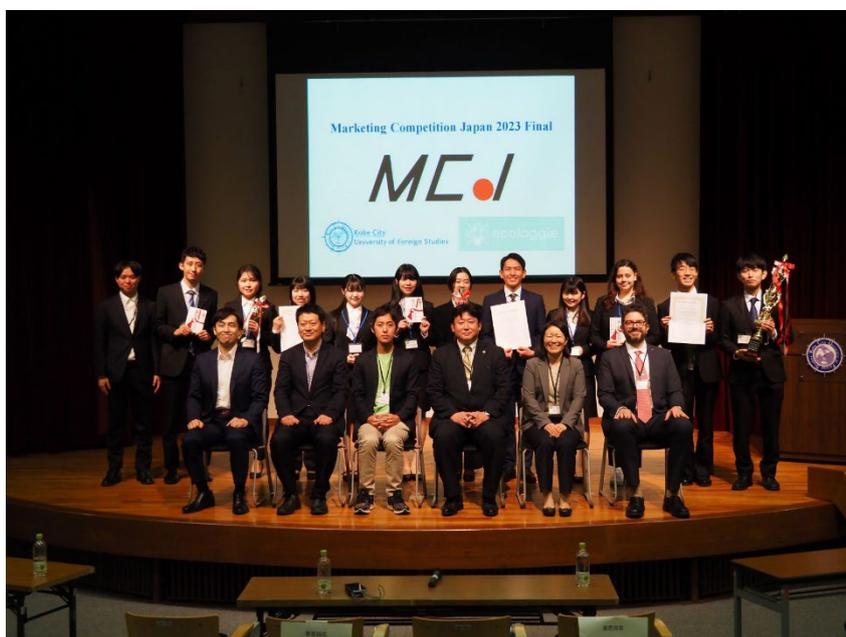
株式会社エコロギー（ecologgie Inc.）

### 参加大学：9大学 21チーム

青山学院大学（1チーム）、関西大学（1チーム）、神戸市外国語大学（6チーム）、  
神戸大学（1チーム）、公立鳥取環境大学（1チーム）、専修大学（1チーム）、中央大学（1チーム）、  
東京経済大学（3チーム）、法政大学（6チーム）

### 入賞校

- 1位 法政大学
- 2位 神戸市外国語大学
- 3位 関西大学



## ■語劇祭

本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の5つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

### 日時（2023年度）

2023年11月11日（土曜） 12時00分～17時00分

2023年11月12日（日曜） 12時00分～16時15分

### 場所

新開地アートひろば

### プログラム

#### ○英米・2部英米合同語劇団

演目：『The Princess & The Woodcutter』（作：A. A. Milne, adapted by Gavin Bantock）

森の中で暮らす木こり（woodcutter）ととある国のプリンセス（princess）。2人は愛し合っていた。しかし、国の王とその妃であるプリンセスの両親は結婚相手を3人の王子から選ぶとしていた。プリンセスの相手に選ばれるのは「いっつつぱんやさしい人」。しかし3人の王子は三者三様の独特な個性を持っておりピッタリな相手が見つからない…

王は自分が考えた、女王を利用した奇想天外なアイデアでプリンセスの結婚相手を選ぶとする。

その一方で木こりもプリンセスと結婚するためにある行動に出る。

そしてお互いの作戦が実行される！最後にプリンセスと結ばれるのはいったい誰なのか！？

登場人物たちが織りなすユーモアや個性があふれる恋愛コメディ！！

#### ○ロシア語劇団

演目：『Иванов（イワーノフ）』（作：Антон Чехов（アントン・チェーホフ））

19世紀のロシアの地主貴族のイワーノフは、結核を患っている妻のアンナ・ペトローヴナとおじのシャベリスキー伯爵、居候のポールキンとともに暮らしている。イワーノフはレーベジェフに借金があり、交渉のため、レーベジェフ家で行われている娘のサーシャの誕生会に訪れる。そこで、イワーノフはサーシャから愛の告白を受けるが・・・？

#### ○中国語劇団

演目：『非常麻将』（作：李六乙）

老大、老二、老三、老四は麻雀で結束する“竹林の四閑”である。彼らは麻雀から足を洗い、人の道に戻るために最後の一局を行おうとしていた。しかし、老二が来ない。老二が来るまで始められないので、彼らは待っている間に自分たちの過去・現在・未来について百家争鳴宛らに雑談を交わす。老二はなぜ来ないのか。苛立ち、虚無感、緊張、不安、殺意、千紫万紅な感情が渦を巻く。

#### ○イスパニア語劇団

演目：『La sirena varada（陸に上がった人魚）』（作：Alejandro Casona）

平凡な生活に飽き、規律や理性を取り払った生活を望むリカルド。彼は人里離れた大屋敷に、現実逃避をする者達を招き、理想郷を築こうとしていた。

だが、突如人魚と名乗る女が屋敷に現れる。彼女は誰なのか、彼女を知ろうとすればするほど辛い現実が待ち受ける。君は理想的な世界に生きるのか、それとも現実の世界で生きるのか。

スペイン劇作家カソナが織り成す幻想と現実の世界をお楽しみください。



劇団賞	最優秀劇団賞	イスパニア語劇団
	優秀劇団賞	ロシア語劇団
主演者賞	最優秀主演役者賞	水野 風汰 (イスパニア語劇団 役名: リカルド)
	優秀主演役者賞	水野 木々音 (中国語劇団 役名: 老四)
助演者賞	最優秀助演役者賞	両川 唯人 (ロシア語劇団 役名: ボールキン)
	優秀助演役者賞	川本 梨緒 (英米・第二部英米合同語劇団 役名: the Queen)
若葉賞	最優秀若葉賞	佐々木 陸磨 (イスパニア語劇団 役名: 幽霊)
	優秀若葉賞	山田 紅葉 (イスパニア語劇団 役名: シレナ)
ベストキャラクター賞		川本 梨緒 (英米・第二部英米合同語劇団 役名: the Queen)
		阿部 友紀 (ロシア語劇団 役名: イワーノフ)
		水野 木々音 (中国語劇団・2年 役名: 老四)
		佐々木 陸磨 (イスパニア語劇団・1年 役名: 幽霊)
照明賞		英米・第二部英米合同語劇団
音響賞		中国語劇団
字幕賞		イスパニア語劇団
舞台美術賞		ロシア語劇団
衣装メイク賞		英米・第二部英米合同語劇団
観客賞		英米・第二部英米合同語劇団

### 3 研究

#### 3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2018年度以前に終了した採択研究課題は掲載していない）

##### 【基盤研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
メコン川中流域を中心とした諸言語の言語実態と変容プロセスの研究	2017	2022
感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界	2018	2022
環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究	2020	2023
西チベットにおける古チベット語碑文の総合的研究 ～岩石碑文の歴史的意義の再検討～	2020	2024
適性処遇交互作用に基づく英語語彙学習の最適化に向けた指導法データベースの構築	2020	2023
包括型コミュニティ・ポリシング：東南アジアにおける武装組織の社会統合モデル	2020	2022
国際協働による戦後日本思想史の再審：歴史学と思想史の多面体を目指して	2023	2027
タイ・ラオスおよび周辺地域の少数言語の語彙・文法調査と言語動態学的研究	2024	2027
Professional Visionの可視化による英語教師認知の形成・変容過程の解明	2024	2027

##### 【基盤研究（C）】

研究課題名	採択年度	最終年度
アメリカ文学における核と原爆の言説—人種とエスニシティと環境のポリティクス	2016	2019
印欧祖語とラテン語の中間段階がもつ言語特徴について	2016	2019
チベット・ビルマ語派ルイ語群の未記述方言調査によるルイ祖語の研究	2016	2019
東アジア哲学の共通基盤としての数理と論理	2017	2020
大衆旅行時代におけるロマン主義精神の継承—湖水地方の観光と文化的景観の変容	2017	2020
20世紀中国の文学形式と抒情の定型—ジャンル・言語・地域の越境面から見る	2017	2019
近現代南アジアにおける中下層の消費と社会・文化表象：軽工業製品雑貨の市場の多様性	2017	2019
成熟経済でのバラッサ・サミュエルソン効果の有効性-労働市場の構造変化との関連から	2017	2019
江戸時代の俳諧文化における画家・絵画評価とその画壇への影響の研究	2018	2021
Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"	2018	2020
ロシアの亡命思想家と戦間期の西欧思想	2018	2022
節の切り詰め効果に関する研究：局所性制約に基づく説明の発展・深化に向けて	2018	2022
Building a corpus of ELF (English Lingua Franca) user negotiated interactions	2018	2022
開発と地域住民によるローカリティとアイデンティティの再編に関する人類学的研究	2018	2022
裁判官人事システムの経済学的分析	2018	2022
新出文献に基づく中世チベット仏教伝播後期における空白期間の総合的解析	2019	2021
ヘンリー・ジェイムズをめぐる翻訳と解釈—東洋と西洋をつなぐ新・国際挿話>の創出	2019	2022
言語変化パターン解明に向けた彝文字地図作成及び彝語コーパスの構築と活用	2019	2021
日本語と中国語の結果複合動詞の分析：「視点」と「主観性/主体性」の観点から	2019	2022
現代バスク語諸方言の音韻と文法の記述 ～地域差と世代間差の二つの側面から～	2019	2022
A Genre Analysis Approach to Effective Writing in Multilateral Diplomacy	2019	2022
アンチダンピング関税発動の経済分析：その要因と効果	2019	2022
小学生の言語的課題の解決に向けた日本語学・心理学の連携的研究	2019	2022
中国における情報手段の発達と環境政策への市民参加に関する研究	2019	2022
Linking Vision and Language through Computational Modelling	2019	2023
ロシア・バレエの越境的展開に関する研究と国際的ネットワークの構築及び発信力の強化	2020	2023
オビ川下流域のウラル系少数民族の言語使用実態の研究	2020	2023
近代インドにおける装身品と嗜好品：国内市場志向型低価格商品の勃興とその模造的文脈	2020	2022
因果推論の手法を用いた国際金融の諸問題の影響の解明	2020	2022
投資家の不均一性が情報開示に与える影響に関する理論的研究	2020	2022
現代マレーシアにおけるムスリムの仏教観と宗教多様性—宗教研究者の言説を中心に	2021	2024
ロマン主義詩の引用・借用・援用—英国湖水地方の文化的景観とワーズワス受容の諸相	2021	2024
清代の満洲語文法書類に関する研究	2021	2023
異文化理解のための話し言葉コーパス—国際共通語としての英語で学ぶ現代日本社会	2022	2024

障害児者のアクティブ・エイジングをささえる運動プログラムの開発と社会実装の試行	2022	2025
シェイクスピア演劇と疫病：宮城聡と王景生を中心に	2023	2025
事象の動態的把握と静態的把握をめぐる露日対照言語研究：事象と事物のアナロジー	2023	2025
直進する時間・循環する時間：中国語における“前/后”“上/下”の認知的対立	2023	2025
日本語における節の名詞化と従属節の構造に関する研究	2023	2025
擬似漢字の形成原理を援用した契丹文字・契丹語の研究	2023	2026
危機管理の組織の経済学	2024	2027
小学生の抱える言語的課題の原因解明と解決を目指す日本語学・心理学の連携的研究	2024	2027
エコロジーと民主主義の変容：人新世時代のフランス思想	2024	2027
こどもの時間とプラグマティズム：ジェイムズ兄弟妹における遊び、好奇心、自由意志	2024	2026

### 【挑戦的研究（萌芽）】

研究課題名	採択年度	最終年度
Asian Women on the Move: Migration, Memory and Gender in Contemporary Performance	2019	2022
日米の相互関係による核イメージの構築・変容・社会的影響に関する研究	2018	2020
意味想起形式による英語語彙サイズ・コンピュータ適応型テストの開発	2022	2024

### 【若手研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
出土資料研究によるチベット古代宗教の諸相解明	2017	2019
琉球王国最末期の漢文学者・蔡大鼎の日本・中国・琉球に関する知の形成と集積	2017	2020

### 【若手研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
タイ上座仏教海外派遣僧プログラムの布教方針とその英国における実践形態の分析	2018	2022
サイト・トランスレーションに関する理論的・実証的研究	2018	2022
武力紛争に至らない自衛権行使の時間的・事項的範囲	2018	2022
契丹大字と契丹小字の比較に基づく契丹大字表記システムの解明	2018	2022
英米探偵小説における隠れた言葉遊びの使用法	2019	2022
黄金期探偵小説における男性性表象	2019	2022
ベラルーシ共和国のロマ（ジプシー）の方言の記述言語学的研究	2019	2021
宋元代の音韻資料に基づく中国語音韻史の理論的研究	2019	2021
日本人スペイン語学習者の書記コミュニケーションに関する中間言語語用論的研究	2019	2021
脱植民地期フランスの政治主体論—エティエンヌ・バリバルを中心に	2020	2023
新デイヴィッドソン主義事象意味論と項構造の廃止	2020	2021
ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』再考：原爆をめぐる言説形成の視点から	2020	2022
蔡大鼎『欽思堂詩文集』の総合的研究—漢詩文に現れる近世琉球士族の生活・教養・交流	2021	2024
現代スラヴ諸語におけるアスペクトの意味および行為の意味の対照言語学的研究	2021	2025
漢語系諸語の北方基部変種の音韻に関する総合的研究	2022	2024
Video-cued インタビューを用いた英語教師の授業実践に関する教育理解の解明	2023	2026
教育学における再帰的自己に関する批判的検討：レヴィナス「再帰」概念を中心に	2024	2026
アメリカの抒情詩の主体と科学技術の状況に関する研究—シルヴィア・プラスを中心に	2024	2028
共通ロマンス語（スイス）と標準ロマニ語（ルーマニア）の言語計画比較研究	2024	2026
モンゴル語カンギュルの写本から版本に渡って見られる発展と変容	2024	2026

### 【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
現代中国の文芸一家——王嘯平、茹志鵬、王安憶の文学テキストの総合的検討	2018	2019
ヴォイヴォディナ・ルシン語の動詞語彙の意味と語源に関する共時的・通時的的研究	2018	2019
対音資料による唐代音韻史の研究—初唐期を中心に	2019	2020
日米における不便法廷地の比較法的研究	2021	2022

【特別研究員奨励費】

研究課題名	採択年度	最終年度
露文資料を用いた近代中国語の研究	2021	2022
近現代イギリスの消費文化と生活協同組合—国際取引と女性たち	2022	2024

【国際共同研究強化（A）】

研究課題名	採択年度	最終年度
変化する警察—軍関係と民主的セキュリティ・ガバナンスの課題	2018	2022

【国際共同研究強化（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
インド北東部の消滅の危機に瀕した言語文化のドキュメンテーション	2019	2022

【研究成果公開促進費（学術図書）】

研究課題名	採択年度	最終年度
〈限界〉志向のロシア語と〈安定〉志向の日本語—アスペクト表現のロシア語・日本語対照研究	2021	2021
王維『モウ川集』の研究—詩歌・園林・絵画の融合—	2023	2023

## ■科学研究費獲得状況

### (1) 申請件数、採択件数、採択率

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
申請件数	27件	29件	21件	14件	10件	22件
基盤研究(A)	1件	1件	0件	0件	1件	0件
基盤研究(B)	6件	2件	4件	1件	1件	3件
基盤研究(C)	11件	17件	7件	8件	4件	12件
その他	9件	9件	10件	5件	4件	7件
採択件数	13件	17件	9件	7件	4件	9件
基盤研究(A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	1件	0件	2件	0件	0件	1件
基盤研究(C)	7件	10件	4件	3件	1件	5件
その他	5件	7件	3件	4件	3件	3件
採択率	48.1%	58.6%	42.9%	50.0%	40.0%	40.9%

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

### (2) 継続研究件数

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
継続件数	22件	26件	35件	40件	39件	33件
基盤研究(A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	1件	2件	2件	3件	4件	3件
基盤研究(C)	15件	15件	20件	22件	20件	18件
その他	6件	9件	13件	15件	15件	12件

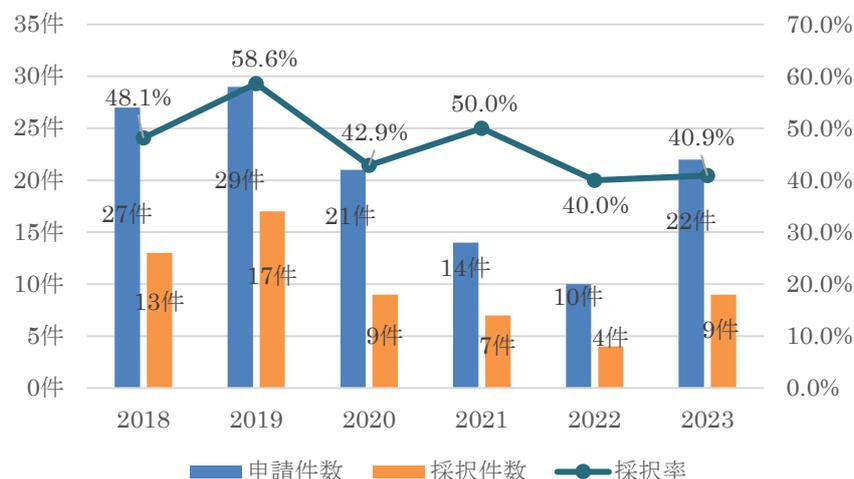
### (3) 研究課題数合計

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
合計件数	35件	43件	42件	47件	43件	41件
基盤研究(A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	2件	2件	4件	3件	4件	4件
基盤研究(C)	22件	25件	23件	25件	21件	23件
その他	11件	16件	15件	19件	18件	14件

### (4) 執行額

(単位：千円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
執行額合計	55,999	63,029	41,003	47,696	44,124	37,092
直接経費	44,047	48,863	23,696	35,663	35,524	30,888
間接経費	11,952	14,166	17,307	12,033	8,600	6,204



### 3-2 学術論文

※執筆者の肩書は執筆当時のものを記載。また、号によっては一部肩書を省略しているものがある。

#### ■外国学研究（2018～2023 年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者	
2019 年 12 月	93	20 世紀東アジア：越境する文学形式と思考の流動	章炳麟と張之洞－交錯する清末の国粹主義－	北京大学中文系 副教授 陸胤
			章炳麟「読仏典雑記」と井上哲次郎編『哲学叢書』	中国社会科学院近代史研究所 副研究員 彭春凌
			少年雑誌の啓蒙性－山縣悌三郎の『少年園』と崔南善の『少年』－	福岡大学人文学部 講師 柳忠熙
			「須講文法」再思	香港教育大学文学及文化学系 助理教授 李婉薇
			魯迅、マンスフィールドと文学的モダニズム－「幸福な家庭」を例に－	北京大学中文系 副教授 張麗華
			周作人「美文」小攷－明治末期の日本文学を材源として－	北九州市立大学外国語学部 准教授 鳥谷まゆみ
			雛形から完成形へ－洪深と中国話劇の「近代」形態の構築－	武漢大学文學院 副教授 裴亮
			他者性を目撃する－「民衆」を記録する一人称の語り－ “士”的再造：战时中国的思想潜流	准教授 津守陽 首都師範大学文學院 副教授 袁一丹
			帝国を引き継ぐ文学形式－1992 年以降の日本現代文学における北朝鮮表象、村上龍『半島を出よ』を中心に－	琉球大学法文学部 准教授 呉世宗
			2022 年 2 月	94
関係的契約理論から見たリニア中央幹線談合事件	教授 田中悟 名古屋大学大学院法学研究科 教授 林秀弥			
入札談合と市場の画定	名古屋大学大学院法学研究科 教授 林秀弥			
政府調達における調達者と供給者間の協調的行動の動機と規制の論理	河南財經政法大學法學研究科 教授 高重迎			

#### ■研究年報（2018～2023 年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2018 年 12 月	58	MUN Perspectives on Teaching and Learning: A Focus on Negotiation	編者 教授 立木 ドナ / 准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		Interest-Based Negotiation and MUN: Equipping Youth with Appropriate Tools for a Better World	マーシー大学 Michiko KURODA
		Research is Key to Model United Nations Writing, Negotiating and Public Speaking	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		ELF in MUN Negotiations: Problematizing the Native Speaker of English	教授 立木 ドナ
		Using Getting to Yes to Teach English, Negotiation, and Other 21st Century Skills	カリフォルニア大学バークレー校 Barrie J. ROBERTS
		Speech, Drama, Debate, Negotiation, and the Model United Nations	南山大学 David KLUGE
		Debating at School in Italy	National Institute for

			Documentation, Innovation, Educational Research Letizia CINGANOTTO
		Improving Student Involvement in Discussions	甲南大学 Takara K. ALLAL-SUMOTO
		The Evolving Argument: Negotiating Improved Academic Writing Skills and Class Cohesion	名古屋大学 Robert Joel DEACON
		Negotiating the Challenges of Studying Abroad	神戸学院大学 Anthony C. TORBERT / Noriko NAKANISHI
2019年 12月	59	Language Policy, Innovations and Practices: A Tale of Two Countries	Editor Donna TATSUKI
		Introduction to Language Policy, Innovations and Practices : A Tale of Two Countries	Donna TATSUKI
		Historical Overview of Foreign Language Policies in Japan	Donna TATSUKI
		Current MEXT Policies and Goals : The New Course of Study for Elementary Schools	Keiko HARUOKA
		MEXT Policies and Learning Experience : Lifelong Learners of Languages other than English	Emi SHIBUYA
		Agents of change or products of compromise? How Japanese senior high school EFL textbooks (mis)represent foreign language curriculum reform	Gregory Paul GLASGOW / Daniel Leigh PALLER
		The Expected and Unexpected Failures of the Global 30 Program	Michael HOLLENBACK
		Higher Education Reforms : The Italian Case	Anna ROMAGNUOLO
		Teaching Practices and Learning Outcomes : Voices from the Field	Alba GRAZIANO / Patrizia SIBI
		Current Educational Policy in Italy : A Focus on Language Learning and CLIL	Letizia CINGANOTTO
2019年 12月	60	Topics in Middle Mekong Linguistics	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		The word for 'snake' in Th�marou, Bolyu, Bit, Kra, Jiamao, and Oceanic: A Lapita Connection?	James CHAMBERLAIN
		The Ethnopoetics of Sida Animal Names	Nathan BADENOCH
		Animal nomenclature in Jinghpaw	Keita KURABE
		Notes on Faunal Terms in At Samart Saek	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		Karen and Surrounding Languages	Atsuhiko KATO
		The Differences between the Tay and Nung Languages in the Trang Dinh District of Lang Son Province	Ayaka HIRANO
		On Two Venitive Verbs in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI
2021年 2月	61	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		A Note on the Paleo-Ethnoherpetology of Giant Softshell Turtles (Trionychidae) in Kra-Dai and Austronesian	James R. CHAMBERLAIN
		Fishing the Uplands: A Linguistic Perspective on the Ethno-Ichthyology of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		The Phonology, Morphology, and Semantics of Burmese Zoonyms	Keita KURABE
		A Preliminary Report on Entomological Vocabulary in Sani Yi	Kazue IWASA
		A Wordlist of Akha Buli Fauna with Reference to Areal Linguistics	Norihiko HAYASHI

		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Grammaticalization of Some Verbs in Serial Verb Constructions in Nung	Ayaka HIRANO
		Impersonal Construction with the Noun 'Thing' in Subject Position in Pwo Karen	Atsuhiko KATO
2021年 12月	62	Max Horkheimer's Early Critical Theory, and Critical ELT research	Robert J. LOWE
		Exploring Orientalist discourse in ELT research in Japan	Michael HOLLENBACK
		De-nativizing academic writing in Japanese ELT: Toward a translingual approach	Yuzuko NAGASHIMA/ Luke LAWRENCE
		The preservation of native-speakerist ideology	Xinqi He
		Irrationality in the Consumption of English: The Case of Eikaiwa Advertising in Japan	William SIMPSON
		Policy and gender inequity in Japanese higher education	Tanja McCANDIE
2022年 11月	63	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Chapter 1 Comparative and Historical Glimpses of the Lacertilia (Lizards) in Tai: A Reconstructive Problematic	James R. CHAMBERLAIN
		Chapter 2 "Crocodiles and dragons": Fauna and Folklore in the Forests of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		Chapter 3 naag nok kuak kap cjas Lady Bulbul and the Ngeuak	Nathan BADENOCH
		Chapter 4 A Sketch of the Mammal Terms of Muang Sing Lolopho with Reference to Dialectal Comparison	Norihiko HAYASHI
		Chapter 5 Continuity and Change in the Duodenary Cycle: Language Contact in the Laos-China Border Area	Nathan BADENOCH Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive Linguistics in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Chapter 6 Eastern Pwo Karen Verb Particles Indicating 'Up' and 'Down'	Atsuhiko KATO
		Chapter 7 A note on taA-/təA- in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI
2023年 12月	64	NMUN Japan 2022: Stakeholders' Perspectives on Learning Processes and Outcomes	Editor Michael HOLLENBACK
		Introduction to NMUN Japan 2022: Stakeholders' Perspectives on Learning Processes and Outcomes	Michael HOLLENBACK, Lori ZENUK-NISHIDE
		Overview: Hosting the National Model United Nations Japan 2022	Lori ZENUK-NISHIDE, Michael HOLLENBACK, Yumi MATSUDA
		Cultural Learning for Diplomatic Training	Michael HOLLENBACK
		Community Building at NMUN Japan 2022: Forum and Ceremonies	Lori ZENUK-NISHIDE, Yumi MATSUDA
		Nuclear War or Non-Nuclear Peace? The Need to Make an Educated Choice	Setsuko THURLOW
		Education for Peace - Constant Efforts of International Society and Japan	Kazuo KURODA
		Inter-connectedness of Peace and Sustainable Development as An Evolving Mission of the United Nations	Tetsuo KONDO
		JICA's Trust-Building Approach for Sustainable Peace	Hiroe ONO
		Peacebuilding For and With Children	Yumiko HORIE
		The United Nations Membership Dynamics: The Case of PR China vs. Taiwan, Germany, and USSR as well as Former Soviet Republics	Thomas WEILER

	Global Partnership for Education Results Based Financing: A Case Study of Teacher Deployment Strategies in Francophone Sub-Saharan Africa	Naoko HOSAKA, Yumi MATSUDA
	A Story of Resilience: Bringing Ukrainian Universities to the NMUN Global Community	Halyna PROTSYK
	Essential Global Competencies for EFL Delegates at the Model United Nations	Thomas FAST
	Active Learning in MUN Training: Curriculum and Instruction for Low-Proficiency Japanese Students	Keiji FUJIMURA
	Preliminary Analyses of a MUN Corpus of English as a Lingua Franca	Donna TATSUKI

### ■研究叢書（2018～2023 年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2018 年 12 月	第 61 号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅱ）補遺・索引篇	教授 竹越 孝
2019 年 12 月	第 62 号	16 世紀スペイン文学の傍流-エラスムス主義の影響の射程-	教授 野村竜仁
2020 年 12 月	第 63 号	『老乞大』四種版本対照テキスト	教授 竹越 孝
2021 年 12 月	第 64 号	満漢成語對待校注	教授 竹越 孝
2022 年 12 月	第 65 号	五巻本『庸言知旨』校注	教授 竹越 孝
2023 年 12 月	第 66 号	契丹小字で表記された漢語音と契丹語の音韻	客員研究員 武内 康則

## 3-3 研究支援事業

専任教員の研究活動を促進することを目的として、学内研究支援事業を行っている。

### ■Research Project A（共同研究・研究交流を支援する）（2018～2023 年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2018 年度	教授 立木 ドナ	Building the MUNSELF Corpus	4 年
2019 年度			
2020 年度			
2021 年度			
2022 年度	准教授 Hollenback, Michael David	National Model United Nations Japan 2022 - UN Forum	2 年
2023 年度			

### ■Research Project B（研究会・討論会の開催を支援する）（2019～2026 年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2019 年度	教授 難波江 仁美	プラグマティズム再考：ジェームズ兄妹とモダニティ	4 年
2020 年度			
2021 年度			
2022 年度			
2019 年度	教授 田中 悟	公共調達をめぐる協調行動に関する法と経済学的研究—関係的契約 (relational contract) の視点から—	3 年
2020 年度			
2021 年度			
2021 年度	教授 金子 百合子	ロシア語専攻授業と連動した自律学習オンライン教材の開発	3 年
2022 年度			
2023 年度			
2023 年度	教授 竹越 孝	アジア諸言語の接触と変容：通時的・共時的観点からのアプローチ	2 年
2024 年度			
2024 年度	准教授 Rajeep Kumar Singh	Comparative Analysis of Green Spaces in Tsukuba City and Kobe City: Impacts on Mental Health and Community Interaction	3 年
2025 年度			
2026 年度			

■Research Project C (科学研究費に申請し採択に至らなかった研究を支援する) (2018～2023 年度)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2018 年度	准教授 L.Nishide	A Genre Analysis Approach to Negotiated Resolution Writing for Model United Nations	1 年
2020 年度	教授 山口 征孝	社会言語学から文化概念を問い直す—英米系長期在留者へのインタビュー分析を通して	1 年
2023 年度	講師 松田 裕美	ポストパンデミックの国際開発教育とグローバルシチズンシップ教育の融合モデル探求	1 年

※2024 年度より科学研究費助成事業 A 評価再チャレンジ支援事業へ移行 (RP-C は廃止)

■国際会議・セミナー等開催支援 (2019～2024 年度)

採択年度	申請者	会議等名称	会議実施日
2019 年度	教授 任 鷹	The 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics (国際中国語学学会第 27 回年次大会 : IACL-27)	2019/5/10～12
2022 年度	准教授 Hollenback, Michael David	National Model United Nations Japan 2022	2022/11/20～27
2024 年度	教授 竹越 孝	第 15 回国際訳学書学会国際学術会議	2024/8/30～31

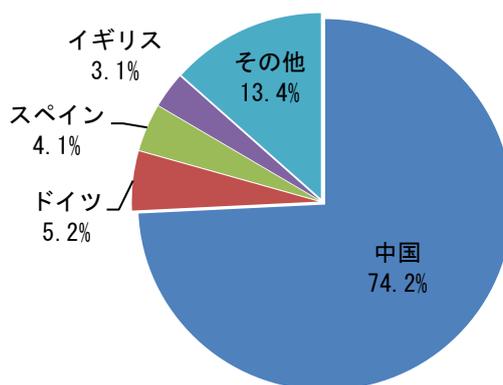
## 4 国際交流

### 4-1 留学状況

#### ■留学生の受け入れ（2023年5月1日現在）

国・地域	学部生	交流留学生 (日本語プログラム)	大学院生 (修士課程)	大学院生 (博士課程)	研究生	外国人研究生	合計
中国		2	34	19		17	72
ロシア		1				1	2
イギリス		3					3
イタリア		2					2
スペイン		2		2			4
アメリカ		1					1
フランス		1					1
ドイツ		5					5
オーストラリア		1	1				2
ブルガリア		1					1
タイ				1			1
台湾				1			1
韓国			1				1
ベトナム			1				1
合計	0	19	37	23	0	18	97

留学生国別受入状況



#### ■学生の海外留学等状況

##### 【交換留学（2018～2023年度）】

国名	留学先	2018	2019	2020	2021	2022	2023
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	-	-	1	1	-	0
	オーガスタナ大学	1	1	0	2	0	1
イギリス	ニューカッスル大学	2	2	0	5	1	2
	ヨークセントジョン大学	2	2	0	4	2	1
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2	2	1	0	0	0
カナダ	メディシンハット大学	1	1	0	1	1	0
	レジャイナ大学	2	1	0	1	1	2
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2	2	1	1	0	2
	ミュンヘン大学	1	2	0	2	0	0
ロシア	クバン国立大学	2	2	0	1	0	0
	ウラル連邦大学	1	1	0	1	0	0
	太平洋国立大学	1	2	0	1	0	0
カザフスタン	カザフ国立大学	-	2	1	1	1	1
中国	天津外国語大学	1	1	1	1	1	1
	東北師範大学	2	2	1	1	2	2
	北京語言大学	2	2	0	0	2	2
スペイン	サラマンカ大学	2	2	0	2	1	0
	サラゴサ大学	2	2	0	1	2	2
	マドリード自治大学	0	2	0	1	1	1
合計		26	31	6	27	15	17

※斜体はオンライン留学

【長期派遣(認定)留学(2018~2023年度)】

国名	留学先	2018	2019	2020	2021	2022	2023
アメリカ	イースタンワシントン大学					1	
	ウェバー国際大学	1					
	オレゴン州立大学		1				1
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校		1				
	サンディエゴ州立大学					1	
	セントクラウド州立大学					1	
	テネシー工科大学					1	
	ノースアラバマ大学		1			1	
	バークレー大学	1					
	ハートウィック大学	1	1				1
	バルパライソ大学	1					
	ペンシルベニア州立大学	1					
	イギリス	エセックス大学	1				
ノーサンブリア大学			1				
ヨークセントジョン大学			1			1	
リーズ大学		2	1		1		
オーストラリア	グリフィス大学	1	1				3
	サザンクロス大学	2	2	/			
	スウィンバーン工科大学			/			
	ニューサウスウェールズ大学	1					
カナダ	メディシンハット大学	1			1	1	1
マレーシア	サンウェイ大学					1	
ロシア	極東連邦大学		1				
	ゲルツェン記念ロシア国立教育大学	1					
	国立プーシキン記念ロシア語大学	2	2				
	モスクワ国立大学		2	/			
中国	廈門大学		1				
	華東師範大学	1	2				1
	上海師範大学		2				
	浙江大学		1				
	大連理工大學	1					
	天津大学		1				
	天津外国語大学			/			
	東北師範大学	2	2				1
	復旦大学	3	2			1	3
	北京語言大学	3					2
	北京師範大学	1	1				1
	黒竜江大学						1
広東外語外資大学					1		
台湾	国立成功大学						1
	国立台湾師範大学					3	
	輔仁大学					1	
	国立台湾大学				1		3
	文藻外語大学						1
スペイン	アルカラ大学		1			4	1
	サラゴサ大学				2		4
	サラマンカ大学				2	3	
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学		1				
	パブロ・デ・オラビデ大学		1				
	マドリード自治大学		1				
	ラ・リオハ大学						1
メキシコ	メキシコ国立自治大学					1	
合計		27	31	4	7	22	26

※斜体はオンライン留学

【スペイン語圏派遣留学（2018～2023年度）】

国名	留学先	2018	2019	2020	2021	2022	2023
スペイン	アルカラ大学	2	3	不催行	3	1	3
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	2		不催行	2		1
	ラ・リオハ大学	3	1	不催行		5	4
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2		不催行			
合計		9	4	0	5	6	8

【短期派遣留学（2018～2023年度）】

国名	留学先	2018	2019	2020	2021	2022	2023
アメリカ	UCLA Extension	5	2	不催行	3	5	廃止
アメリカ	ワシントン大学コンティニュームカレッジ (UWCC)	-	-	-	-	-	10
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	28	21	不催行	不催行	18	18
ロシア	モスクワ大学(夏季)	3	2	不催行	3	不催行	不催行
	モスクワ大学(春季)	2	4	不催行	不催行	不催行	不催行
キルギス	キルギス日本センター(夏季)	-	-	-	-	-	3
	キルギス日本センター(春季)	-	-	-	-	-	3
中国	北京語言大学	7	2	不催行	2	6	2
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	5	不催行	不催行	不催行	休止	休止
	国立通信教育大学(春季)	1	不催行	不催行	不催行	休止	不催行
合計		51	31	0	8	29	36

※斜体はオンライン留学

※別途「荻野スカラシップ」奨学金制度で、下記のとおり休学留学実績あり。

2018年度・・・シンガポール国立大学（1名）

2019年度・・・中国人民大学（1名）、サンクトペテルブルク国立大学（1名）、グリフィス大学（1名）

2022年度・・・ライデン大学（1名）

2023年度・・・エセックス大学（1名）

※2020年度の留学はすべてオンラインで実施（春渡航者も帰国後オンラインに切り替えて修了）

※2022年度の中国への交換留学生は全員オンラインで留学開始したがその後渡航し、修了。

※オルレアン大学（フランス）は交換留学提携校であるが、開講科目がフランス語のみであるため休学で派遣し長期留学の派遣実績にはカウントしない。

【休学による留学・語学研修等（2023年度実績：大学把握分）】

	大学学部・短期大学	ランゲージセンター等の大学附施設	民間等語学学校	専門学校レベル	不明・その他	合計
アイルランド		2	7			9
アメリカ合衆国	4			1		5
エストニア			1			1
オーストラリア	1		30	2	1	34
カナダ	3	2	19	8		32
コスタリカ			1			1
スウェーデン				1		1
スペイン	3		6			9
デンマーク			1	1		2
ドイツ		1	1			2
ニュージーランド	1		2			3
フィジー			1			1
フィリピン			5			5
フランス	1	2	1			4
マルタ			4			4
マレーシア	1					1
メキシコ	1					1
ルワンダ	1					1
英国	5		6			11
韓国		1				1
香港			1			1

台湾		7	2			9
中国	1	4				5
南アフリカ			1			1
合計	22	19	89	13	1	144

【海外インターンシップ】

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
city' super 香港インターンシップ派遣プログラム	2	2	0	0	0	0
上海インターンシップ	8	12	0	0	0	0
JETRO サンフランシスコ事務所プログラム	1	0	0	0	0	0
キルギス日本センター	-	-	-	-	-	1

【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム】

第11期 2019 前期	第12期 2019 後期	第13期 2020 前期	第14期 2020 後期	2021 前期	2021 後期	2022 前期	2022 後期	第15期 2023
0	3	募集中止	1	募集停止	募集停止	募集停止	募集停止	1

※第12期採用者3名のうち2名はコロナ禍により渡航できず辞退。1名のみ、2021年11月より留学を開始。

※第14期採用者はコロナ禍により留学開始を延期し、2022年1月より留学を開始。

※2021年度以降、募集は機構の判断により停止していたが、2023年度より第15期が再開。

## 4-2 国際交流協定

■学生・教員の交流協定締結機関（2024年3月末現在）

計17カ国49大学・機関 ★は23年度の新規提携

国名	大学名	初回締結	学生交換	認定	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981.12	※	○		
	★ウィスコンシン大学マディソン校	2023.12		○		
	エルマイラ大学（ダブルディグリー）	2001.5		○		
	オーガスタナ大学	2011.8	1名	○		○
	オレゴン州立大学	2019.1		○		
	★サンディエゴ州立大学	2024.1		○		
	UWCC（ワシントン大学コンティニュームカレッジ）	2022.12				○
英国	リーズ大学	2007.9		○		
	ノーサンブリア大学	2011.11		○		
	ニューカッスル大学	2014.7	3名	○		
	ヨークセントジョン大学	2015.8	2名	○		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013.5	2名			○
ウズベキスタン	世界言語大学	2023.3	2名			
オーストラリア	ディーキン大学	2007.10		○		
	モナッシュ大学（ダブル・マスター）	2014.3	院5名			
	ニューサウスウェールズ大学	2014.4		○		
	サザンクロス大学	2015.7		○		
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	2010.5			○	
カザフスタン	カザフ国立大学	2018.7	2名			
カナダ	メディシンハット大学	2009.11	※	○		
	レジャイナ大学	2012.1	2名	○		
キルギス	公益法人キルギス共和国日本人材開発センター	2023.3			○	
	★キルギス国立総合大学	2023.7	2名			
スペイン	オルテガ・マラニョン国際教育センター トレド	1989.11		○		
	アルカラ大学	1994.6		○		○
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2007.4		○		
	ラ・リオハ大学	2007.10		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009.12		○	○	
	サラマンカ大学	2013.6	2名	○		
	マドリード自治大学	2014.1	1名	○		
	サラゴサ大学	2014.10	2名	○		
ナバラ大学（ダブル・マスター派遣のみ）	2018.11		院生		○	
中国	天津外国語大学	1983.7	1名	○		
	復旦大学	1995.12		○		○
	北京語言大学（15年度学生交換開始）	2008.9	1-2名	○	○	○
	東北師範大学（15年度学生交換開始）	2011.12	1-2名	○		○
	上海師範大学	2012.10		○		○
	南開大学（博士課程のみ）	2022.2	院生			
台湾	国立台湾師範大学	2023.3	2名	○		
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012.6	4名			
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013.10	2名			
フランス	オルレアン大学（交換留学は休学が必要）	2020.12	2名	○		○
ブルガリア	ソフィア大学聖クリメント・オブリドスキ	2023.2	2名			
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2015.3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001.11		○		
	モスクワ大学ーロシア語ロシア文化学院	1967 2006.2		○	○	○
	ウラル連邦大学	2015.4	2名	○		
	クバン国立大学	2015.4	1-2名	○		
	太平洋国立大学	2016.7	1-2名	○		

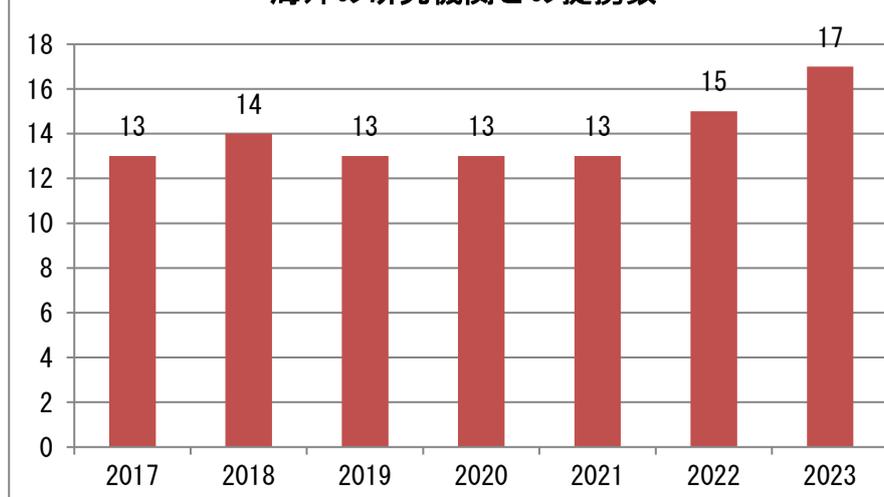
- ・学生交換協定の※印は、毎年双方の合意のもと、学生派遣数を決定する。
- ・ナバラ大学とのダブル・マスターは本学からの派遣のみ。
- ・オルレアン大学は、派遣については休学扱い。

■海外の研究機関等との提携（2024年3月末現在）

計13カ国・地域、17大学・機関 ★は23年度の新規提携

国名	締結先	締結時期	備考
フランス	国立高等研究院	2008.3	
タイ	マヒドン大学	2014.12	
ロシア	ウラル連邦大学	2015.4	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
ロシア	クバン国立大学	2015.4	
スイス	ベルン大学	2015.10	
スペイン	バスク大学	2016.4	2008年4月に締結した交流協定に学術協力（交流）に関することを追加
ロシア	太平洋国立大学	2016.6	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
カナダ	メディシンハット大学	2017.1	
カナダ	レジャイナ大学	2017.3	
スペイン	ナバラ大学	2018.3	
インド	インド工科大学 グワハーティー校	2019.2	
中国	南開大学文学院	2019.8	2022年2月、大学院の学生交換協定を追加
ブルガリア	ソフィア大学「聖クリメント・ オフリドスキ」	2022.10	
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立 世界言語大学	2022.12	
台湾	台湾師範大学	2023.3	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
キルギス	★キルギス国立総合大学	2023.7	
ルーマニア	★ヴァラヒア大学	2023.12	

海外の研究機関との提携数



## 5 地域貢献・地域連携

### 5-1 地域行政、団体などとの協力

【神戸市の行政、団体などとの協力（5機関）】（2024年3月末現在）

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中学校、高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）。
（公財）神戸国際コミュニティセンター	相互の人的・知的資源、施設の有効活用、国際協力・交流の充実と地域貢献の進展に資すること。
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同実施など。
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など。
（一社）神戸新聞文化センター	公開講座の共同開催。

【上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）】（2024年3月末現在）

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業。
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業。
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業や共同研究、地域の市民や高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業。
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力。
全国外大連合	教育研究の内容に応じた様々な連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上。

## 5-2 市民講座・公開講座等

### ■神戸市外国語大学提携講座

2018年8月に神戸新聞文化センターと連携協力に関する協定を締結し、2018年度後期より「市民講座」、「オープンセミナー」を統合し、「神戸市外国語大学提携講座」として神戸新聞文化センター（三宮ミント神戸）にて開講している。

2023年度実績（4講座 20名）

	講座名	講師	回数	受講者数
前期	英会話（中級）	Franklin Chang 教授	全12回	8名
	ユーゴスラビアとは 六つの共和国、五つの民族、四つの言語、三つの宗教、一つの国家	Gvozdenovic Kristina （非常勤講師）	全4回	5名
後期	中国語（初級）	靳 卉芝 （博士課程1年）	全12回	4名
	日本映画の名作を振り返る—社会的弱者の描写を中心に	小谷 七生 （非常勤講師）	全4回	3名

### ■公開講座（ユニティ）

ユニティに加盟する5大学1高専が、得意とする分野をテーマに、毎年市民を対象とした講座を開講している。

2023年度実績（受講者数 233名）

「インド入門」 2024/1/20～2/17 毎土曜日	
1) インドのイメージ—仏教・貧困・IT—	長田 俊樹 客員教授
2) 多様なインドの言語と文字の世界	長田 俊樹 客員教授
3) インダス文明の世界	長田 俊樹 客員教授
4) インド少数民族の世界	長田 俊樹 客員教授
5) インドの将来—カースト制度・インフラ整備・経済格差—	長田 俊樹 客員教授

※ユニティ・・・神戸の学術文化の拠点として、神戸研究学園都市周辺にある5大学1高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営している。

### 5-3 学生ボランティア活動

#### ■2023 年度学生ボランティア活動実績

分野	分野別 人数	内容
国際協力	348	外国人留学生、中国帰国者の日本語学習補佐、模擬国連大会運営サポート、留学生の日本語学習補佐、外国客船乗客への観光案内、外国人来場者の通訳とイベントの運営手伝い、イベント当日の運営手伝い、中国語、韓国語アナウンス、海外からの出演者の通訳、外国の親子・留学生向け書道ワークショップのサポートスタッフ
子どもの教育・生活	143	小学 5.6 年生対象の英会話レッスンを通じた英語の楽しさの伝達、習字の練習サポート、中学生の学習支援、子どもの遊び相手・見守り、神戸市立中学校生徒への異文化紹介、生活保護世帯の子どもの学習支援・進路相談、英語でのクリスマス会イベントの企画・運営、明石市立小中学校生徒の学習支援、幼児の英会話学習支援、定時制高校の学習支援、海外にルーツのある小中学生の学習支援、経済的事情等の様々な困難を抱え塾に通えない中学生への学習支援
お年寄り支援	103	外大近隣に暮らすお年寄りとのお便り交流、外大近隣に暮らすお年寄りの方とのおしゃべり交流
地域振興支援	55	イベント当日の運営手伝い、ステージ出演協力、西区が実施する事業の企画・運営、地域住民自治会の HP 作成への協力
環境保護	39	小学生とのゴミ拾い、環境保護イベントの企画と運営、イベント当日の運営手伝い、来場者へのゴミ分別の呼びかけと散乱ゴミ抑制に向けた清掃、日本ウミガメ協議会への派遣
障がい者支援	4	障がい者の職業技能競技会の手伝い、視覚障がいのある院生の修学支援
消費啓発	1	地下鉄駅構内等公共施設での消費生活啓発アナウンス
<b>合計</b>	<b>693</b>	

#### <学生の大学サポート活動>

分野	分野別 人数	内容
学内外国人留学生支援	61	JLP 生の本学での活動全般のサポート（オンライン）
オープンキャンパス	118	オープンキャンパスでの来訪者対応
花植え	30	学内花壇への植栽
国際交流	4	学内外の交流イベントの企画運営
<b>合計</b>	<b>213</b>	

## 6 教職員

### 6-1 教員数

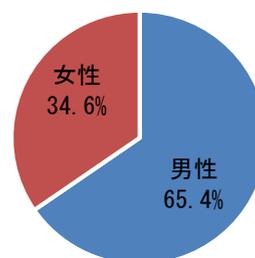
#### ■職位別（2023年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科		11	5	3	19
ロシア学科		3	4		7
中国学科		5	3		8
イスパニア学科		3	2		5
国際関係学科	1	10	9	2	22
総合文化グループ		8	7	2	17
合計	1	40	30	7	78

#### ■男女別（2023年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	12	7	19
ロシア学科	4	3	7
中国学科	5	3	8
イスパニア学科	2	3	5
国際関係学科	15	7	22
総合文化グループ	13	4	17
合計	51	27	78

教員男女比



#### ■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2023年5月1日現在）

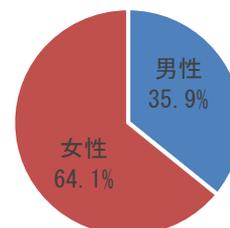
	人数	割合
全教員	78人	
①外国籍の教員	15人	19.2%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	16人	20.5%
③外国で通算1年以上（3年未満）の教育研究歴がある日本人教員（非②）	15人	19.2%
④外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員（非②）	4人	5.1%
①～④の合計	50人	64.1%

### 6-2 職員数

#### ■所属別・男女別（市派遣・固有・契約・パート、2023年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営G・総務G	19	20	39
学生支援・教育G	7	21	28
研究所G	3	13	16
学術情報G	4	5	9
合計	33	59	92

職員男女比



## 7 財務状況

### ■財務状況の推移

(単位：百万円)

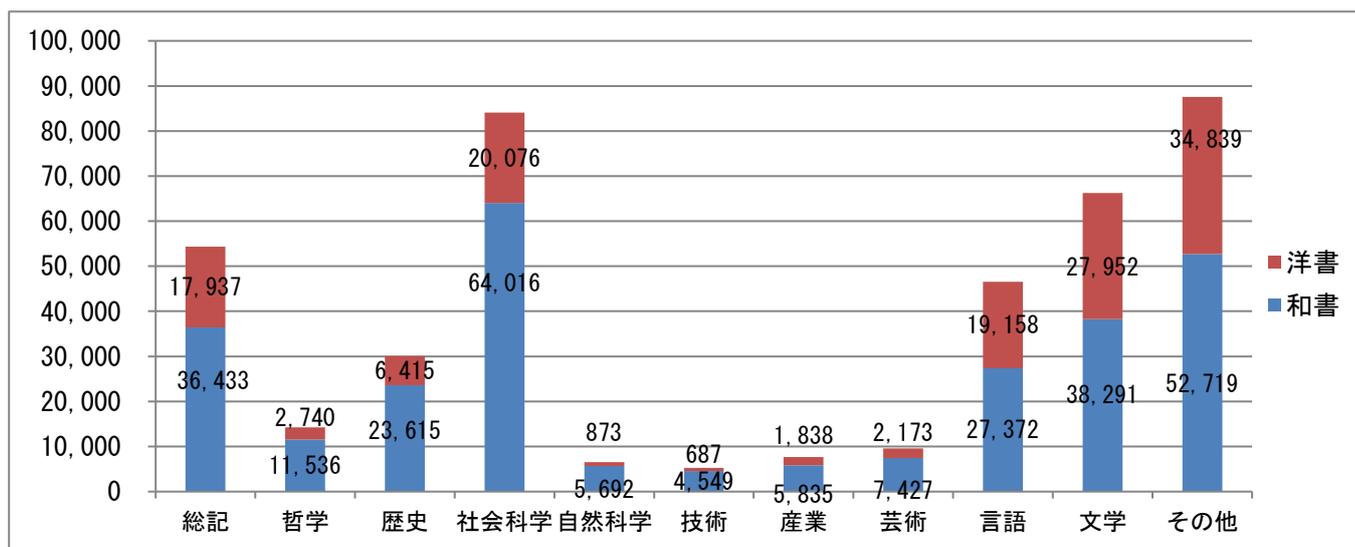
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経常費用	2,339	2,346	2,431	2,499	2,730	2,633
業務費	2,154	2,124	2,164	2,181	2,350	2,281
教育経費	256	248	376	341	420	337
研究経費	61	64	53	54	50	97
教育研究支援経費	67	68	69	72	76	83
受託研究費	0	-	1	3	12	5
受託事業費等	0	0	-	0	2	-
共同研究費	-	3	1	1	1	1
人件費	1,769	1,740	1,665	1,711	1,790	1,758
役員人件費	65	81	149	82	132	101
教員人件費（常勤）	1,096	1,021	885	965	971	927
教員人件費（非常勤）	167	175	167	185	193	198
職員人件費（常勤）	315	334	329	351	402	412
職員人件費（非常勤）	126	129	135	127	92	119
一般管理費	184	219	260	311	374	346
その他の費用	1	4	6	6	6	6
財務費用	1	4	6	6	5	6
雑損	-	-	-	-	0	-
経常収益	2,380	2,411	2,524	2,455	2,635	2,664
運営費交付金収益	1,102	1,098	1,218	1,101	1,314	1,436
学生納付金収益	1,128	1,149	1,174	1,184	1,111	1,130
授業料収益	904	933	966	976	909	924
入学金収益	185	184	174	176	169	174
検定料収益	38	33	34	32	33	31
受託研究収益	0	-	1	4	14	5
受託事業等収益	0	0	-	1	2	-
共同研究収益	-	3	1	1	1	1
補助金等収益	0	0	1	1	3	1
寄付金収益	9	17	11	41	54	45
資産見返負債戻入	80	81	85	86	86	-
その他の収益	60	62	33	37	50	48
財務収益	2	2	2	2	5	6
雑益	58	60	31	35	46	42
経常利益（損失）	41	65	93	△44	△95	31
臨時損失	0	-	-	0	21	2
臨時利益	19	-	1	0	0	2,248
当期純利益（損失）	60	65	94	△44	△116	2,278
前中期目標期間繰越積立金取崩額	14	12	4	49	147	186
目的積立金取崩額	-	-	-	-	65	68
当期総利益（損失）	74	77	97	5	97	2,532

※四捨五入により合計が合わない場合があります。

※2023年度以降は、法人及び外大に係る財務状況（高専除く）を記載しています。

## 8 図書館

■蔵書冊数：412,173冊（和書：277,485冊 / 洋書：134,688冊）（2023年度）



■図書館利用状況（2018～2023年度）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
入館者数（人）	151,273	143,534	32,328	44,368	81,724	100,372
貸出冊数（冊）	42,462	39,459	21,071	20,748	33,422	33,383

2023年度入館者数（内訳：人）

区分	外大				高専		市民	合計
	学部生	大学院生	教職員	卒業生	学生	教職員		
入館者数	79,025	5,066	11,412	820	885	1	3,163	100,372

※法人の職員は外大側に含む。

2023年度貸出冊数（内訳：冊）

区分	外大				高専		市民	合計
	学部生	大学院生	教職員	卒業生	学生	教職員		
貸出冊数	21,511	3,281	4,938	574	67	1	3,011	33,383

※法人の職員は外大側に含む。

2023年度市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	203	169	3,163	3,011